

名 称 所 在	用 途 (令別表)	発 生 日 時 等	構 造・階 層 面 積	焼 損 程 度 (焼損面積 (延面積))	死 傷 者
明 治 座	劇 場	昭和32年4月2日 出火1時45分ころ 覚知1時54分 覚知別 報知電話 鎮火3時22分	耐火 建 2,057m <sup>2</sup> 延 7,137m <sup>2</sup>	全・半・部・小 2,323m <sup>2</sup> (33%)	死者 0名 傷者 9名 (9)
東京都中央区 日本橋浜町2~20	(1)イ				

## I 火災概要

① 概 要	明治座は創立以来5回目の火災であり、そのうち今回を除く他の4回は木造建築であったため、全焼したのに対し、今回は半焼すんだことは耐火建築であったこと。防火面施設も考慮されていたことが、ある程度効を奏したものと思われるが、劇場火災、また耐火建物火災として多くの教訓を得るものがあった。						
	階	床 面 積	焼損床面積	用途(売場)	在館者	死 者	避難設備等
② 階 別 状 況		m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>				屋内階段 B1F~3F 3箇所 B1F~4F 6箇所
	R'	114.5	81.68	機械換気室 物置等			(消) 内 B1F~4F 各4ヶ所 自 B1F電気室 1F樂屋廊下 2F照明室
	4	643.5	384.65	客席、樂屋、映写室、 厨房、機械換気室			
	3	1,042.8	705.8	樂器、食堂			
	2	1,207.8	24.59	客席、樂屋、食堂			
	1	2,059.2	816.09	舞台、客席、樂屋	15		
	B1	2,069.8	310.99	奈落、電気室、 食堂、機械室等	8		
	合計	7,137.6	2,323.8		23	0	
③ 出 火 場 所	(階、室、部位、可燃物状況、居室・ <u>非居室</u> 、在・ <u>不在</u> ) 舞台部上手にある木造4階造りの4階部分の照明室（オートトランス室）から出火したもので、出火当時は不在であり、舞台背景師等が舞台部で作業中であったが、視界のきかない場所であった。				④ 出 火 原 因	オートトランス室内のトランスの 巻線被覆が損傷し、鉄心にふれ、 地絡発火したものと考えられる。	

⑤ 火 災 の 延 焼 経 路 等	(出火部位)	(出火室の拡大)	(他室の拡大)	(他階への拡大)												
	4階照明室（オートrans室）	木造壁、天井	周囲の舞台用幕類から舞台部へ	シャッター加熱され、変形副射熱等により、客席部の天井へ拡大し3、4階へ												
4階オートrans室から出火した火災は舞台用の幕類に燃え移り、いろいろな吊物等から舞台全面に急速に延焼拡大した。この時点で、舞台部と客席とを区画する防火シャッターが降下したにもかかわらず、突破され客席部の天井から3階、4階の客席へ、さらには1階客席及び他部分に延焼していったもの。																
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 延焼拡大した主な理由           <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 照明室、舞台部への連絡口に防火戸が設けられていたが、開放されていたため延焼した。</li> <li>○ 舞台部と客席を区画している防火シャッターを閉鎖したが、著しく加熱され、その副射熱によりシャッターが変形し、すき間が生じたため、客席部分の可燃材、天井等に着火延焼した。</li> </ul> </li> <li>○ 煙の伝播経路           <ul style="list-style-type: none"> <li>舞台部及び客席吹抜け部を猛煙が上昇し全館に充満した。</li> </ul> </li> </ul>																
<h2>II 火災建物概要</h2>																
① 建 築	<p>着工・竣工又は主たる改築等            (竣工) 昭和25年11月22日 ( ) 昭和 年 月 日</p>															
管 理 状 況	<p>② 空洞の状況</p> <table border="0"> <tr> <td>階 段</td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td>ダクトスペース</td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>エレベーター</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>パイプシャフト</td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>エスカレータ</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>その他(吹抜)</td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> </tr> </table>		階 段	<input checked="" type="checkbox"/>	ダクトスペース	<input checked="" type="checkbox"/>	エレベーター	<input type="checkbox"/>	パイプシャフト	<input checked="" type="checkbox"/>	エスカレータ	<input type="checkbox"/>	その他(吹抜)	<input checked="" type="checkbox"/>	<p>③ 防火管理状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 当劇場の従業員は123名で、防火責任者が定められており、届出もなされている。</li> <li>○ 防火責任者の指導により、常時警備員2名のほか、閉演後は宿直制度を設け、8名が各持場において火元責任者となり、閉演残業後の消火管理に努めていた。</li> </ul>	
階 段	<input checked="" type="checkbox"/>	ダクトスペース	<input checked="" type="checkbox"/>													
エレベーター	<input type="checkbox"/>	パイプシャフト	<input checked="" type="checkbox"/>													
エスカレータ	<input type="checkbox"/>	その他(吹抜)	<input checked="" type="checkbox"/>													
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ダクト、シャフト関係は耐火造である。</li> <li>○ 階段区画として防火戸が設けられていた。</li> <li>○ 排煙口は手動、自動併用に改善する予定であった。</li> </ul>		<p>④ 防火区画等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 舞台部と樂屋を区画する耐火壁体に電気配管等の貫通部が埋め戻しをされていなかった。</li> <li>○ 防火シャッターを自閉式に改造する予定であり、また、今回の出火場所でもあるtrans室等の防火区画についても、近日に改修する予定であった。</li> </ul>														
<p>⑤ 消防用設備等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>火災のあった年の夏頃には、自動火災報知設備その他全般的に消防設備の改修を行う予定であった。</li> </ul>																

### III 火災後の行動

① 発 見 状 況	<ul style="list-style-type: none"> <li>○発見者 (舞台背景師)</li> <li>○発見の動機 (下手の方に赤くなったのに気付く)</li> <li>○発見後の行動 (照明室が火事だとさけぶ)</li> </ul>	
	<p>第一発見者は、舞台中央付近で客席に面して背景画を描いていた背景師主任で、ふと下手の方が赤くなつたので見あげたところ、2階照明室の舞台寄りの大柱の右側付近が燃えているのを発見し、照明室が火事だと皆に知らせた。</p>	
② 通 報 状 況	<p>通報した <input checked="" type="checkbox"/> (背景師)      発見後約( 5 )分</p> <p>しない <input type="checkbox"/></p>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○背景師主任の「火事だ」の声で火災に気づいた背景師の一人が、楽屋にある消火器を取りに行つた所、他の者が持つて行くのを見たので、楽屋口の廊下にある加入電話で通報した (1時54分)</li> <li>○119番覚知1分後に、浅草橋出張所望楼より火煙認知の通報 (1時55分)</li> </ul>	
③ 初 期 消 火 状 況	<p><input checked="" type="checkbox"/> 消火した</p>	<p>成功 <input type="checkbox"/> 失敗 <input checked="" type="checkbox"/></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○消火時期 <input checked="" type="checkbox"/></li> <li>○消火困難性 <input checked="" type="checkbox"/></li> <li>○消火方法 <input type="checkbox"/></li> </ul> <p>(理由又は状況)</p> <p>背景師数名が筆洗バケツで舞台部から消火作業を行い、電気部員5名が南西階段より照明室に行き、消火器で消火作業を行つた。また、宿直者3名は楽屋廊下の屋内消火栓で消火作業を行つたが、発見が遅れたことにより、火災が拡大しており効果がなかつたため全員退去した。</p>
	<p><input type="checkbox"/> 消火しない</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○消火時期 <input type="checkbox"/></li> <li>○消火困難性 <input type="checkbox"/></li> <li>○消火方法 <input type="checkbox"/></li> <li>○その他 <input type="checkbox"/></li> </ul>
④ 消 火 活 動 概 要	<p>(消防上の支障・困難性等)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○発見、通報の遅れから、消防隊が到着した時点で、舞台部付近一面が猛火、猛煙のため、進入困難であつた。</li> <li>○建物構造が階層のない空洞のような吹き抜けであるため、炎はもちろん猛煙により防ぎよに困難をきたした。</li> <li>○防ぎよにあたり、屋内階段の利用が少なかつたため、内部進入、排煙に支障をきたした。</li> </ul>	

	避 難 方 法	避 難 上 支 障 事 項
	<input type="radio"/> 階段を利用 □(人) <input type="radio"/> エレベーター、エスカレータ利用□(人) <input type="radio"/> 避難器具を利用 □(人) <input type="radio"/> 窓、開口部から直接地上へ □(人) <input type="radio"/> 救助 □(人) <input type="radio"/> その他( )□(人)	<input type="radio"/> 無窓 □ <input type="radio"/> 開口部の格子等 □ <input type="radio"/> 非常口(出入口)等の施錠 □ <input type="radio"/> 警報設備□(管理不良、機能不良、未設置) <input type="radio"/> 停電 □ <input type="radio"/> その他 □
⑤ 避 難 状 況	出火時の在館者は、従業員23名のみで、初期消火に失敗後全員避難しているが、建物内部を熟知しており、避難はスムーズに行われた。	
⑥ 死 者 の 状 況	健康人 名 (泥酔者 名) 要保護者 名 [乳幼児 名] 高齢者 名 身体不 名 自由者 名 病人 名	避難上支障となつた事項 <input type="radio"/> 無窓 □ <input type="radio"/> 開口部の格子等 □ <input type="radio"/> 非常口(出入口)等の施錠 □ <input type="radio"/> 警報設備□(管理不良、機能不良、未設置) <input type="radio"/> 停電 □ <input type="radio"/> その他 □
なし		
<b>IV 問題点・教訓等</b>		
1. 消防上の指導がくりかえされ、相当改善されていたが、未解決の事項が残り、これも改善計画中において出火しており、この未実施事項が今回の火災拡大の要因となつてゐる。 2. 防火区画及び区画貫通部の埋戻しは人命安全上完全にする必要がある。 3. 客席内部、特に防火シャッター等に近接する部分の内部仕上げを防火的にする必要がある。 4. 早期発見の意味から、舞台部、見通しのきかない部分等特に自動火災報知設備の設置が必要である。 5. 舞台部については、スプリンクラー設備が望ましい。又排煙口も絶対必要であり、自動・手動併用で遠方操作も可能にすべきである。 6. 消防側として事前に建物構造、消防用設備等の実態を把握しておく必要があり、これらを有効に活用して防ぎよに当らなければならない。		

